

## 神奈川歯科大学附属横浜クリニック臨床専攻生規程

(平成31年4月1日制定)

### (目的)

第1条 この規程は、神奈川歯科大学附属横浜クリニックにおいて、最新の治療と、高度な医療技術に接することにより、歯科医療に対する幅広い知識と高度なテクニックを習得することと、日本歯科医学会・専門分科会に属する学会の認定医及び専門医の資格取得を目的とする。

### (コース)

第2条 臨床専攻生（以下「専攻生」という。）には、専攻科責任者の指示に従い各診療科で臨床研鑽を行う実践コースおよび専修コースをおく。

### (出願手続)

第3条 専攻生を志望する者は、次の書類を揃えクリニック院長に願出しなければならない。

- (1) 願書（本院所定）（別記様式） 1通
- (2) 履歴書 1通
- (3) 医師又は歯科医師免許証の写し 1通
- (4) 保険医登録証の写し 1通
- (5) その他必要な書類（健康診断書・臨床研修修了登録証等）

### (許可)

第4条 許可は書類審査の上、運営委員会の議を経て決定する。

### (期間)

第5条 専攻生の臨床研鑽期間は、許可された年度の末日迄とする。

- 2 更新する場合は、専攻生の継続の手続を行うものとする。

### (雇用契約及び手当)

第6条 実践コースの雇用契約及び手当は、次の各号に定めるとおりとする。

- 2 学校法人神奈川歯科大学との間で、雇用契約を締結する。
- 3 次の手当を診療従事月の翌月に支給する。ただし、全支給額の月額上限を40,000円×勤務日数とする。
  - (1) 日当：時給1,000円（診療実績があった場合のみ支給）
  - (2) 1) 診療報酬手当：計算式〔診療報酬額－（日当×勤務日数×3）〕×割合％
    - 2) 1)の割合は矯正歯科・インプラント科は3%とし、その他の診療科は5%とする。

(研修費用)

第7条 専攻生は、許可された研修期間に基づいて次の研修費を横浜クリニックに納入する。

- (1) 実践コース 300,000円 (消費税別)
- (2) 専修コース 100,000円 (消費税別)

(取消し)

第8条 専攻生としてふさわしくない行為があったときは、運営委員会の議を経て許可を取り消すことがある。

(改廃)

第9条 この規程の改廃については、運営委員会の議を経て理事会に報告する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

この規程は、令和2年4月1日から一部変更施行する。